

## 第9節 水生生物（淡水魚類）

### 第1項 調査概要

評価書の調査地点のうち、最終処分場計画地内を流れる天白川下流2地点（河川水調査地点と同地点）において、淡水魚類生息確認状況を把握するため調査を実施した。

#### 1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表9 - 1 に示したとおりである。

表9 - 1 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 19 年 5 月 22 日	捕獲調査、目視観察調査、 任意調査
夏 季	平成 19 年 8 月 28 日	
秋 季	平成 19 年 11 月 30 日	
冬 季	平成 20 年 3 月 7 日	

#### 1 - 2 調査地点

調査は図9 - 1 に示した2地点（評価書の調査地点P.1、P.2）で実施した。

#### 1 - 3 調査方法

##### 1 - 3 - 1 捕獲調査

調査地点にカゴ網、セルビン各2個を設置して採集し、生息種の捕獲・確認を行った。  
カゴ網、セルビンは1時間設置し、餌として市販の練餌及びサナギ粉を用いた。

##### 1 - 3 - 2 目視観察調査

岸边や橋上から目視により観察を行い、生息種の確認を行った。

##### 1 - 3 - 3 任意調査

上記の調査方法に加えて、調査地点周辺を、タモ網を用いて任意に採集し生息種の確認をする任意調査も実施した。

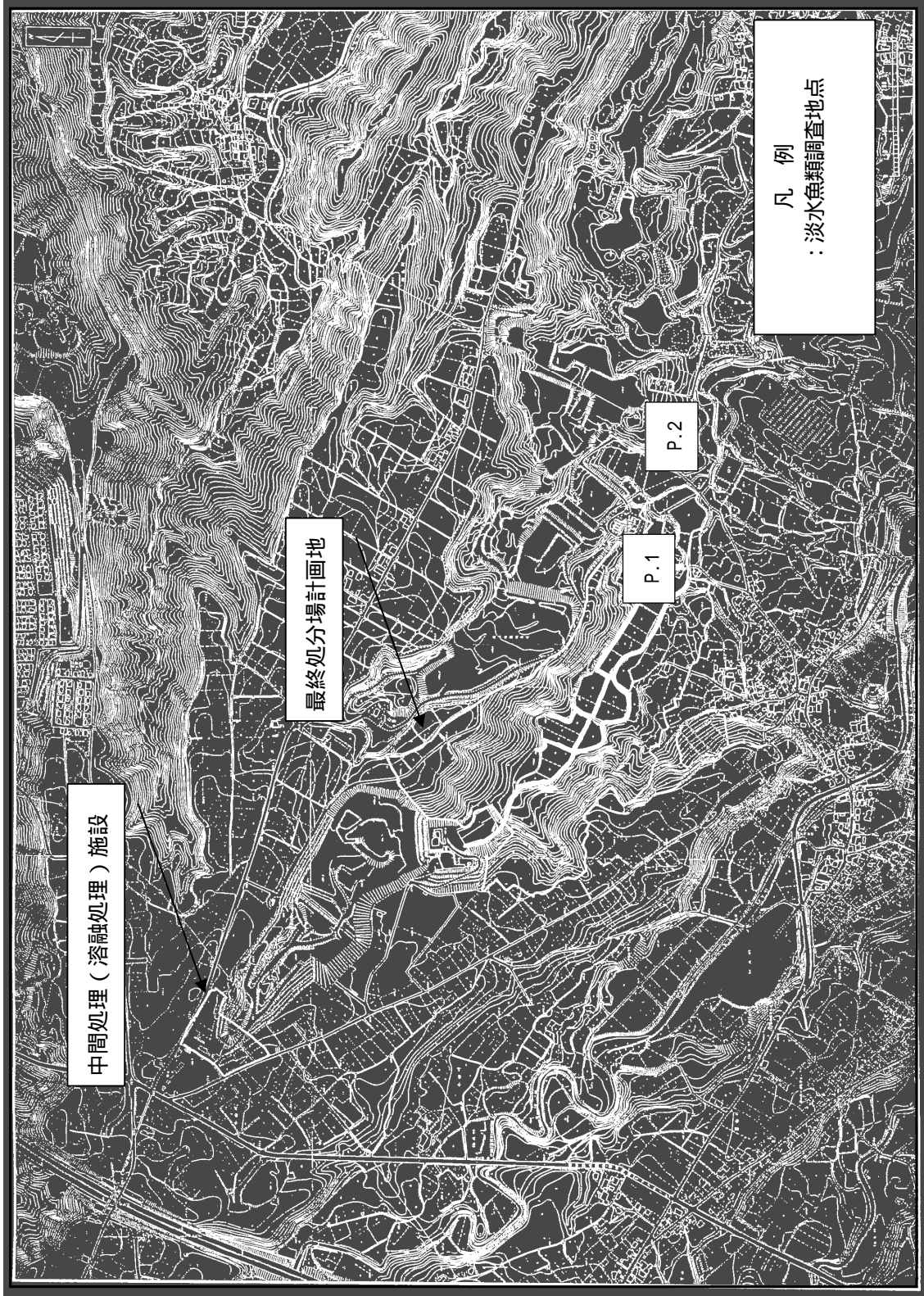


図9 - 1 水生生物（淡水魚類）調査地点

## 第2項 調査結果

### 2 - 1 捕獲調査結果

カゴ網、セルビン、タモ網による捕獲調査により、表9 - 2に示したとおりオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウの5種の淡水魚類を確認した。

カゴ網による捕獲では、春季のP.1でカワムツ、タモロコの2種を、P.2でカワムツ1種を、夏季のP.2でオイカワ、カワムツの2種を、秋季のP.1でカワムツ1種を、P.2でオイカワ、カワムツの2種を捕獲した。

セルビンによる捕獲では、春季のP.1、P.2、夏季・秋季のP.1、冬季のP.2でカワムツ1種を捕獲した。

タモ網による捕獲では、春季のP.1でカワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウの4種を、P.2でカワムツ、カワヨシノボリの2種を、夏季のP.1でカワムツ、カワヨシノボリの2種を、P.2でオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリの3種を、秋季のP.1でカワムツ、カワヨシノボリの2種を、P.2でオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリの3種を、冬季のP.1でオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリの3種を、P.2でカワムツ、カワヨシノボリの2種を確認した。

一方、今回の調査結果のうち、カゴ網、セルビンによる捕獲個体数についてみると、夏季のP.2が21個体と最も多く、次いで春季のP.1が19個体、P.2が14個体という結果であった。

冬季のP.1は1個体も捕獲できなかった。

表9 - 2 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	春 季		夏 季		秋 季		冬 季	
		調査地点		調査地点		調査地点		調査地点	
		P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2
カゴ網	オイカワ				16		5		
	カワムツ	7	2		5	1	5		
	タモロコ	1							
	種 数	2	1	0	2	1	2	0	0
	個体数	8	2	0	21	1	10	0	0
セルビン	カワムツ	11	12	3		9			1
	種 数	1	1	1	0	1	0	0	1
	個体数	11	12	3	0	9	0	0	1
タモ網	オイカワ								
	カワムツ								
	カワヨシノボリ								
	タモロコ								
	ドジョウ								
	種 数	4	2	2	3	2	3	3	2

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

## 2 - 2 目視観察調査結果

各季に実施した調査では、P.1、P.2とも魚影を確認することはできなかった。

### 第3項 まとめ

今回の調査では表9 - 3に示したとおり、2目3科5種の淡水魚類を確認した。

地点別では、P.1で5種、P.2で3種を確認した。

表9 - 3 魚類捕獲調査結果（確認種）

目 名	科 名	種 名	調査時季				調査地点		
			春季	夏季	秋季	冬季	P.1	P.2	
コイ	コイ	オイカワ							
		カワムツ							
		タモロコ							
	ドジョウ	ドジョウ							
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ							
2 目	3 科	5 種	種数	4	3	3	3	5	3

また、今回の調査結果を、表9 - 4に示した平成18年度の調査結果を比べてみると、地点別の確認種は、P.1では昨年度より多い結果であったが、P.2では少ない結果であった。

季節別では、平成18年度は、夏季に5種を確認した以外は3種を確認したが、今回の調査では、春季に4種を確認した以外は3種の確認で、確認種に大きな差はみられなかった。

表9 - 4 魚類捕獲調査結果（確認種：平成18年度の調査）

目 名	科 名	種 名		調査時季				調査地点	
				春季	夏季	秋季	冬季	P.1	P.2
コイ	コイ	オイカワ							
		カワムツ							
		タモロコ							
	ドジョウ	ドジョウ							
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ							
2 目	3 科	5 種	種数	3	5	3	3	4	5